

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名 【 上毛町立南吉富小学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>【11月16日】事前学習【各学年】</p> <p>【11月17日】3・4校時「福澤 翔氏 学習会（車イスバスケットボール）」 5年（26名）・6年（21名）</p> <p>【11月30日】3・4校時「パラリンピックって何だろう？」 3校時 5年（26名）・4校時 6年（13名）</p> <p>【11月30日～12月4日】「学習のふりかえりとまとめ」【各学年】 5年（26名）・6年（13名）</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ・ 体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピックの価値である「努力する喜び」「他者への尊重」「卓越さの追求」「フェアプレイ」「他者への尊重」等を理解させ、心身共に健やかな児童を育成する。パラリンピックの精神としての「チャレンジ」「フェアプレイ」「心身の健全」等を学ぶことや、勇気や希望を大切に作る人間性を育むとともに、障がい者スポーツの意義を理解し、共生社会を形成する児童を育成する。</p>
5 取組内容	<p>本校では、毎年4年の総合的な学習の時間で福祉教育を実施している。その中で「障がい」や「バリアフリー」について学んでいる。学んだことをふり振り返りながら、本事業の取組を行った。</p> <p>【11月17日】3・4校時「福澤翔選手による車イスバスケットボール体験学習」</p> <p>体験学習を行う前日に、オリンピック・パラリンピック教材「アイムポッシブル」を活用し、パラリンピックの競技「車イスバスケット」についての学習を行い、児童に学習意欲をもたせた。当日は、「車イスバスケット」の元日本代表選手福澤氏を招聘し、パラリンピックや車イスバスケットの話の聞いたり、実技を体験したりする活動を設定した。その結果、児童のオリンピックやパラリンピックに対する興味・関心を高め、知的理解を深めることができた。</p>



	<p>【11月30日】3・4校時</p> <p>「パラリンピックって何だろう？」</p> <p>オリンピック・パラリンピック教材「アィムポッシブル」を活用し、リオデジャネイロパラリンピックの様子をDVDで視聴し、オリンピック・パラリンピックについて興味をもたせた。福澤翔選手からお聞きしたことや、教材、DVD等から、学んだことをもとに、児童一人一人が、オリンピック・パラリンピックに関するクイズをつくっていった。児童は、さらに興味を高め、「夏の開催を楽しみにしている。」といった声も出された。</p> <p>【11月30日～12月4日】 「オリンピック・パラリンピックについてまとめよう」</p> <p>前回までの学習の感想を、プリントに各自がまとめて、教室や廊下に掲示を行った。本学習を通して、児童はパラリンピックに興味をもち、特に車イスバスケットを観戦したいという気持ちを高めていた。</p> <div data-bbox="794 107 1433 324" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="826 392 1407 712" data-label="Text"> <p>【子どもが作ったクイズ】(6年児童)</p> <p>○パラリンピックを象徴する言葉は、次のうちどれでしょう。 「失ったものを数えるな。□を最大限に生かせ！」</p> <p>1 使えるもの 2 残されたもの 3 動けるもの 答え 2</p> <p>○パラリンピックには4つの価値が重視されていますが、その4つは、何でしょう。 答え 勇気・強い意志・公平・インスピレーション</p> </div> <div data-bbox="986 936 1417 1169" data-label="Text"> <p>【児童の感想】(6年児童)</p> <p>○オリンピック・パラリンピックは「平和」を象徴する大会とも言われているので、オリンピック・パラリンピックが、今後中止されない事を願おうと思います。</p> </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>○児童は、「オリンピックは、勝つことよりも、参加することに意義がある」というオリ・パラの精神について学ぶことができた。</p> <p>○「2021年のオリンピックが楽しみだ。」「車イスバスケットボールをまたしたい。」という児童の感想が多く見られた。オリンピック・パラリンピックのことについて興味をもたせることができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○毎年、本校4年生で学習している総合的な学習の福祉教育の学習と関連付け、調べ学習の場を設定することで、児童の障がい者スポーツについて関心を高めることができた。</p> <p>○実際に、車イスバスケットの元日本代表の福澤翔選手にお越しいただき、パラリンピックの話や車イスバスケットボールの話・実技等を学ぶことで、オリンピックやパラリンピックに対する興味・関心を高め、知的理解を深めることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○学校行事や教科等と関連して、事業を計画実施する必要がある。</p> <p>○実践テーマⅠ・Ⅲで、事業を計画実施したが、コロナの関係で、講師とのスケジュール調整が厳しく、結果的にできることに取り組む形となった。講師も含めて、日程調整が必要である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教材「アィムポッシブル」を活用した授業を構想する。オリンピック・パラリンピックへの興味・関心や知識をさらに膨らませたい。</p> <p>○パラリンピックの競技、車イスバスケットの体験を通して、学んだこと等を発信し、全校児童のオリンピック・パラリンピックの機運を高める。</p> <p>○学んだことを教室や廊下にホワイトボードを利用して掲示を行い、学校</p>

	<p>に来校される地域の方や保護者にもオリンピック・パラリンピックについて継続して発信を行う。</p>
--	---